

経営比較分析表（令和5年度決算）

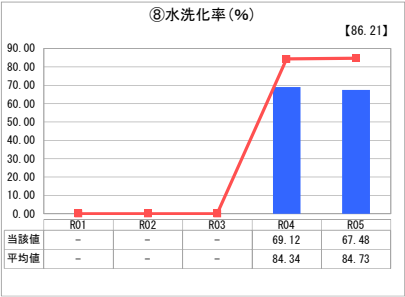
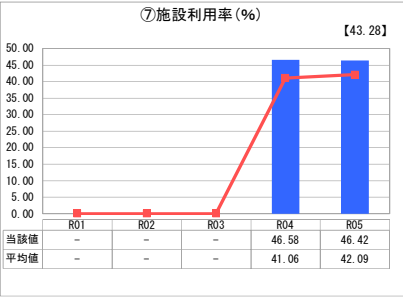
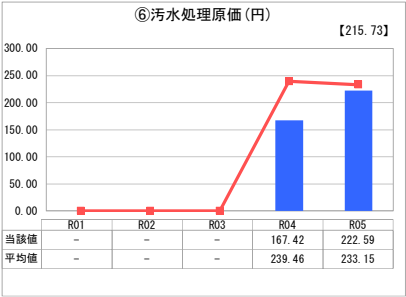
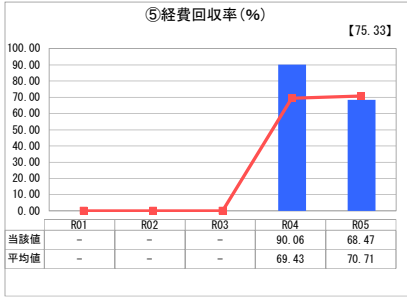
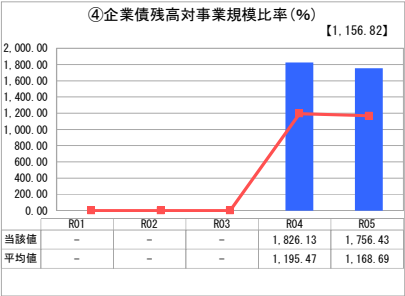
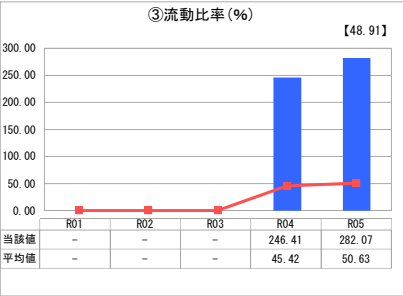
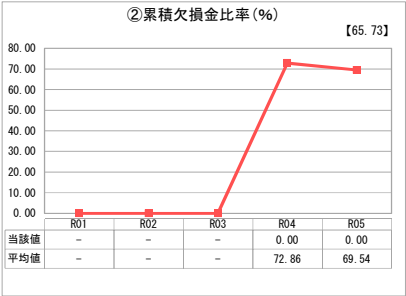
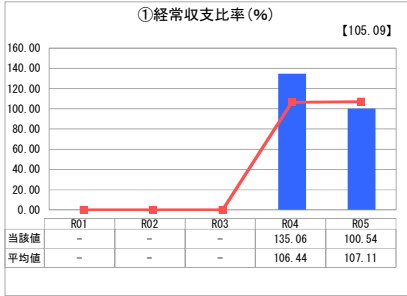
高知県 香美市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	77.21	8.89	89.54	2,750

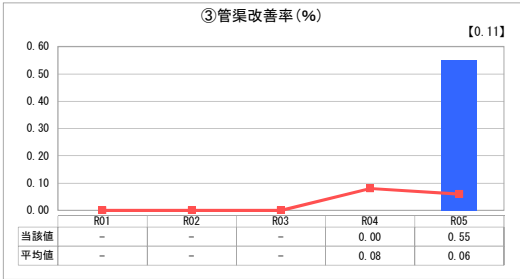
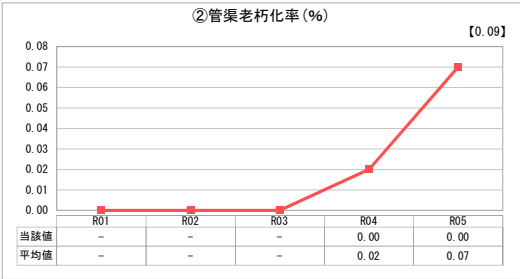
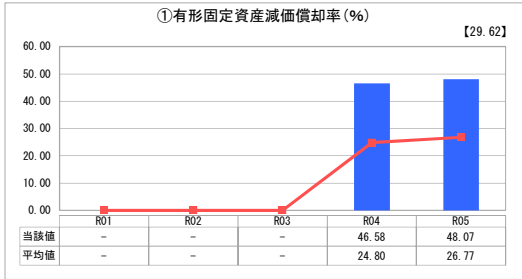
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,000	537.86	46.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,202	1.02	2,158.82

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
[] 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、⑤経費回収率については、使用料収入で維持管理費を賄えていない為、一般会計からの繰入金に依存しており、健全経営とは言えない状況となっています。当該年度は特に修繕費の増及び比較的新しい施設除却のため資産減耗費がかさみ、前年度より数値が下がっております。

④企業債残高対事業規模比率については、地方債償還金は一般会計からの繰入金で賄われており、当事業が負担しているものはない状況です。

⑥汚水処理原価は、処理場維持管理費の増減により、増減しています。

⑧水洗化率の算出方法を変更したため、水洗化率は下がっています。施設等の整備も完了していることから、今後の飛躍的な上昇は見込めない状況です。

2. 老朽化の状況について

平成7年事業開始、平成15年供用開始した比較的新しい施設です。平成25年度に管路や施設の整備は完了しています。また近年、伏流水が原因と推察される洗掘による管渠やマンホール周辺の陥没等が増加していることに加え、不明水の流入によってマンホールポンプや処理施設に負荷が掛かり、機械類の故障や摩耗も増加しています。これらの原因によって維持管理費が増加しているほか、有収率が低調となり、有収水量の適正確保にも支障をきたしております。不明水の対応としては、調査を行い、発見された破損箇所の管渠取替を行っています。また、管路や施設の老朽化対策として、ストックマネジメント計画（維持管理計画）に基づき、計画的に施設の更新・維持管理を行っていく予定です。

全体総括

平成25年度に面整備は終了していることから、企業債債務残高が年々減少する傾向にあります。しかしながら、下水道使用料収入の大幅な増加は見込めず、今後の経営は、大変厳しい状況となっており、今後も不明水の発生区域を特定し、対策へ取り組むとともに、接続勘契による有収水量の適正確保に努めます。

また、令和3年度から料金改定を実施し、使用水量1m³あたり税込33円を増額しました。（ただし、経過措置として、令和3年4月検針分から令和4年3月検針分までは現行の料金で据え置き、令和4年4月検針分から令和9年4月検針分までは使用水量1m³あたり税込16.5円の増額となります。） 今後は、適切な料金収入の確保を図りながら、経営状況の改善に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。